

いけんひろば  
～インターネット上の犯罪に  
あわないように気を付けていること～  
報告資料

2023年度『こども若者★いけんぷらす』事業

# 目次



## 1. アンケート（いけんひろば）の概要

p. 3

- テーマ
- アンケートの方法
- アンケートの期間
- 調査対象者
- 集まった回答の数
- 結果の使い方

## 2. アンケート（いけんひろば）の結果

p. 5

- 各インターネット上の犯罪の被害状況
- 年齢ごとの誹謗中傷の被害状況
- 被害にあった（あいそうになった）時の対応状況
- インターネットの利用状況
- 情報モラルの学習状況
- Q3・Q4の被害状況（情報モラルの学習状況別）
- 情報モラルを学習する機会
- 教わったり勉強したりした情報モラルのうち、今一番気を付けている内容
- 一番気を付けている内容を学習した機会



# アンケート（いけんひろば）の概要

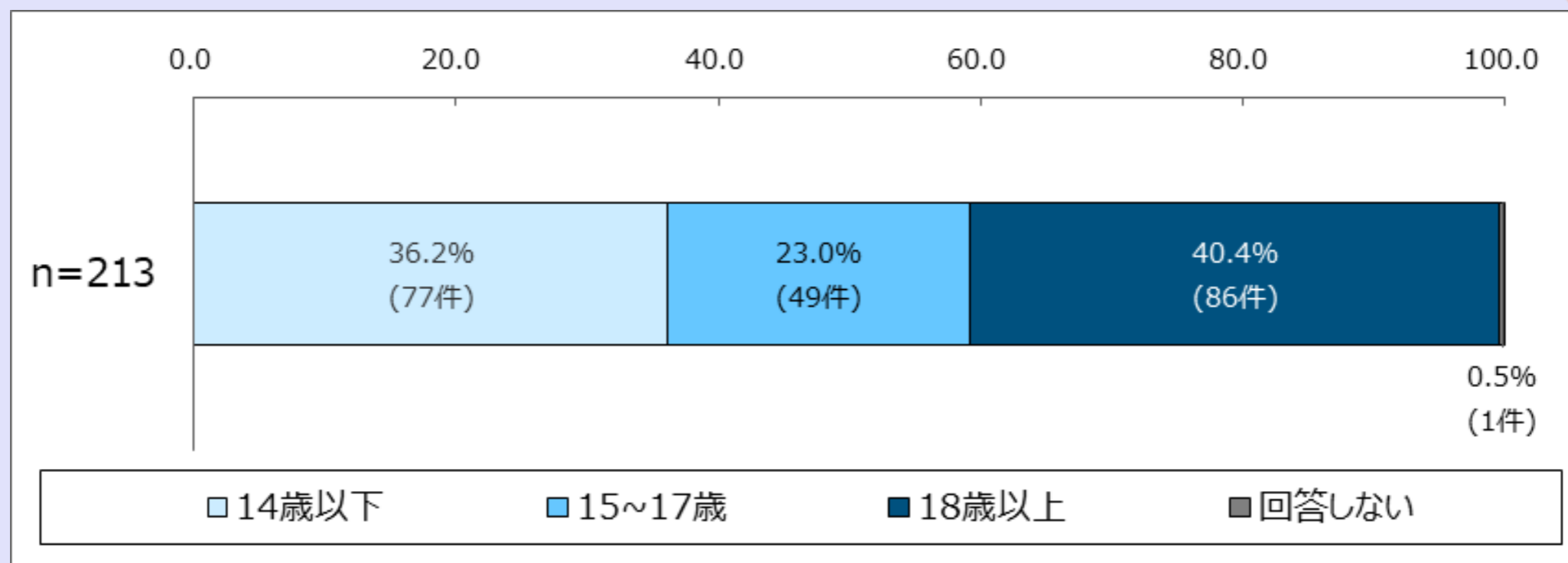
テーマ	インターネット上の犯罪にあわないように気を付けていること
結果の使い方	今後の被害防止のための広報啓発活動に活かしたいと思います。
アンケート内容	<p>Q2：学校の勉強やお仕事以外の目的でインターネットなどをどれくらい使いますか。</p> <p>Q3：この1年間で、メール、SNSやインターネット上のサービスなどのID・パスワードを「ふつうとは違う方法」で入力するよう求められたり、あなたの情報を勝手に使われるなどの被害にあったりしたことはありますか？</p> <p>Q4：この1年間で、あやしいファイルやアプリのダウンロードを求められたり、ダウンロードした不正なアプリにより被害にあったりしたことはありますか？</p> <p>Q5：この1年間で、こどもを対象とする、インターネットなどを利用した性犯罪の被害にあったことはありますか？</p> <p>Q6：この1年間で、インターネットなどを利用した詐欺の被害にあったことはありますか？</p> <p>Q7：この1年間で、インターネット上で誹謗中傷を受けたことがありますか？</p> <p>Q8：この1年間で、インターネット上で著作権侵害を受けたことがありますか？</p> <p>Q9：Q3～Q8のような経験をしたとき、家族以外の警察などに通報や相談をしましたか？</p> <p>Q10：身近な方（家族や学校などの友達）で、Q3～Q8のような経験をした方はいますか？</p> <p>Q11：過去に情報モラルについて教わったり、自分で勉強したりしたことはありますか？</p> <p>Q12：情報モラルをどこで教わったり勉強したりしましたか。</p> <p>Q13：教わったり勉強したりした情報モラルのうち、今一番気を付けている内容はどのようなものですか。</p> <p>Q14：Q13の情報モラル（今一番気を付けている内容）を誰から教わりましたか。</p>



# アンケート（いけんひろば）の概要

アンケートの方法	WEBアンケート
アンケートの期間	令和5年11月27日（月）～12月10日（日）
調査対象者	「ぷらすメンバー」のうち、令和5年4月の時点で小学3年生以上の方
集まった回答の数	213件

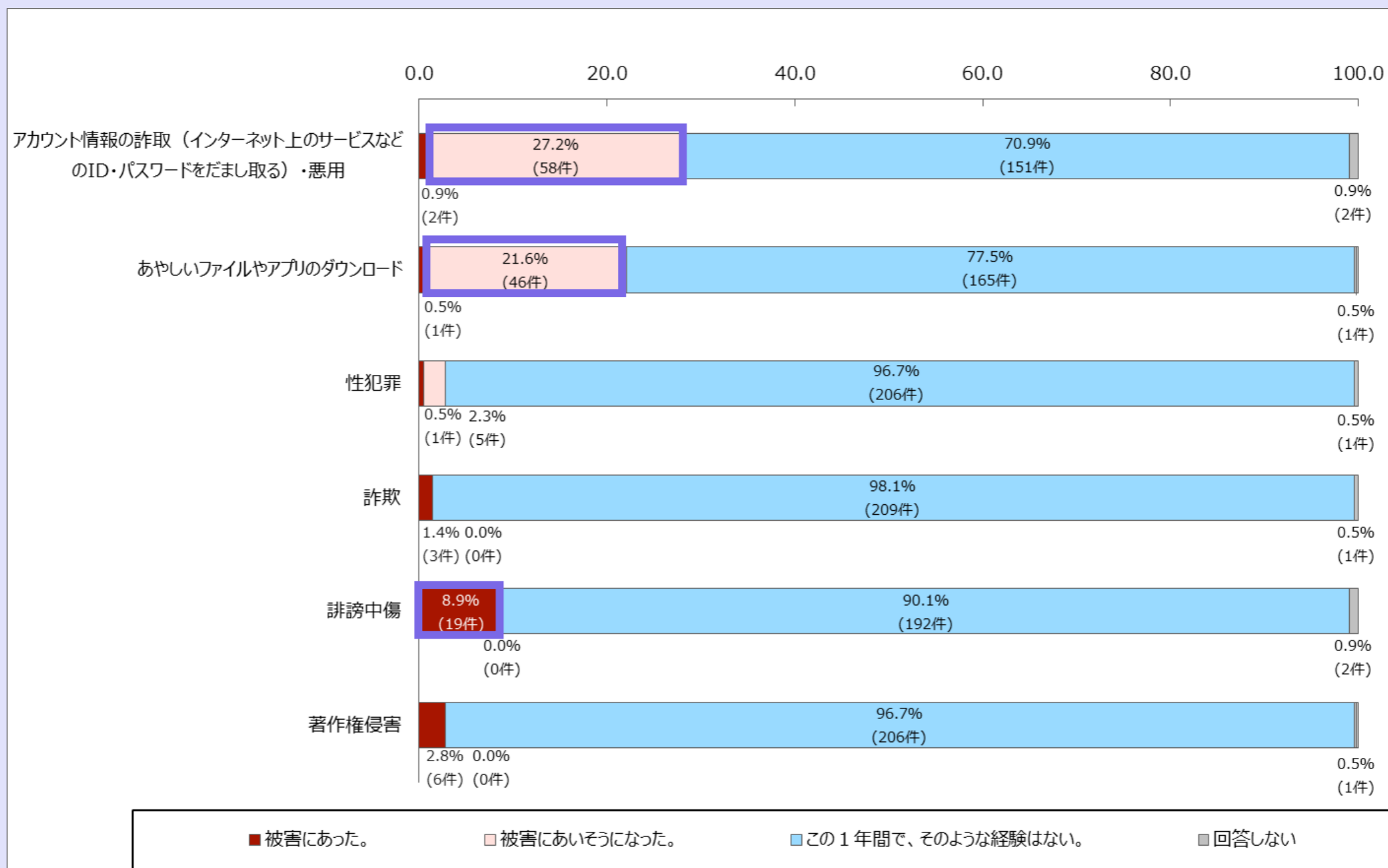
## 回答者の年齢



# 各インターネット上の犯罪の被害状況

Q3～Q8. この1年間で、以下のインターネット犯罪にあったことはありますか？（単数回答）

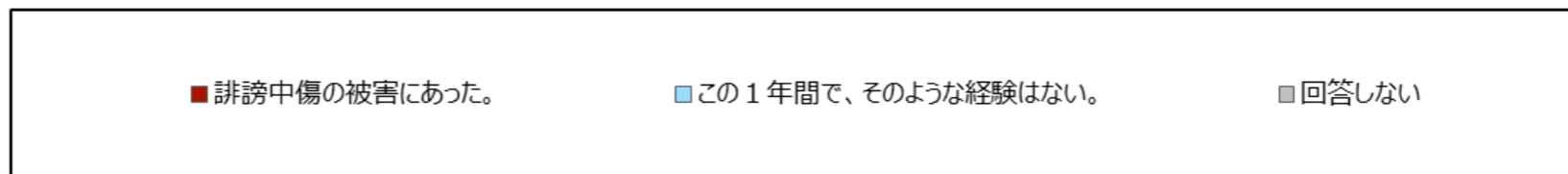
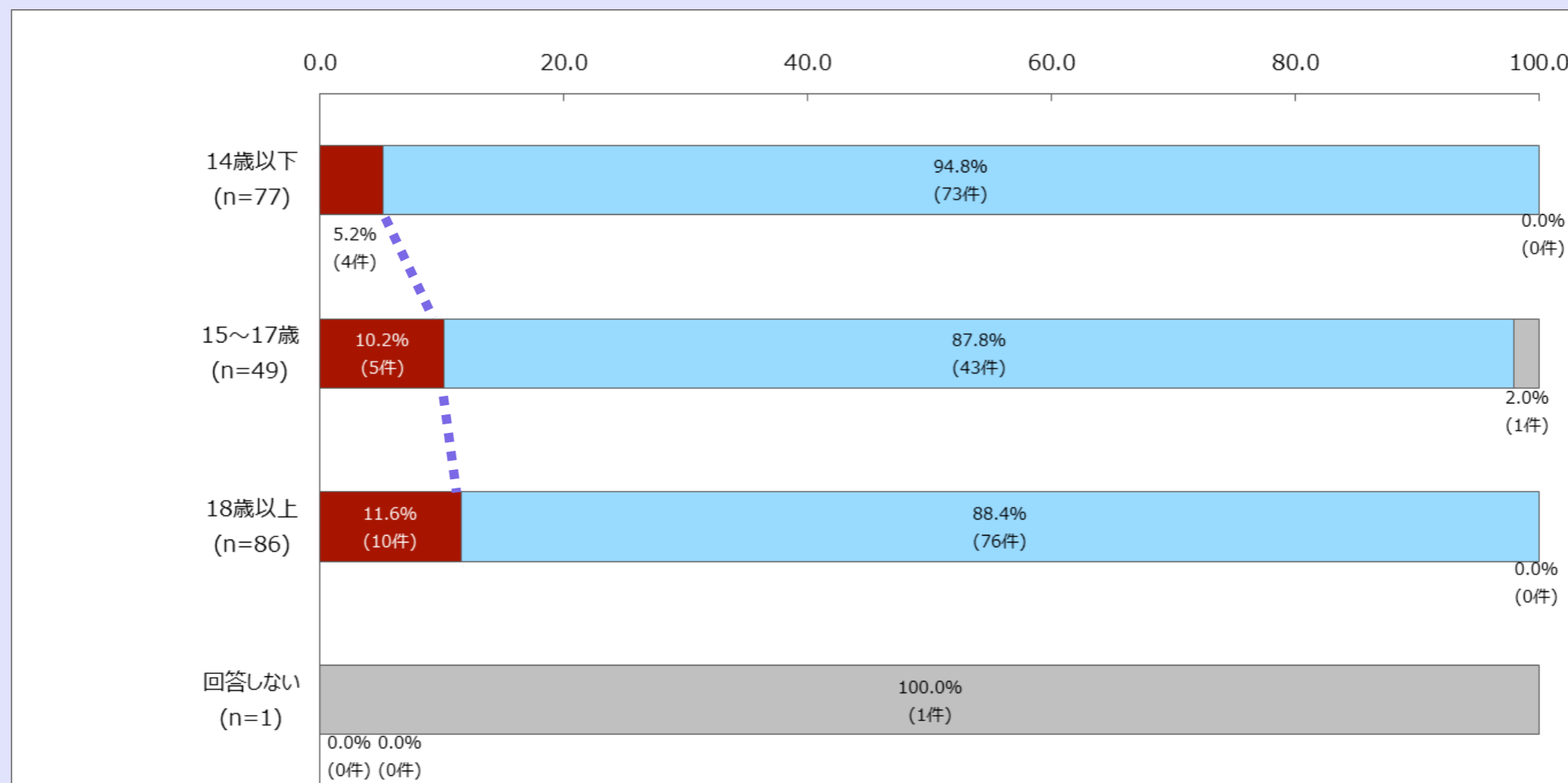
- 「アカウント情報の詐取・悪用」や「あやしいファイルやアプリのダウンロード」の被害にあいそうになった人が多くなりました。
- 他のインターネット犯罪に比べ、「誹謗中傷」の被害に実際にあった人の割合が多くなりました。



# 年齢ごとの誹謗中傷の被害状況

Q7. この1年間で、インターネット上で誹謗中傷（ひぼうちゆうしょう）を受けたことがありますか？（単数回答）

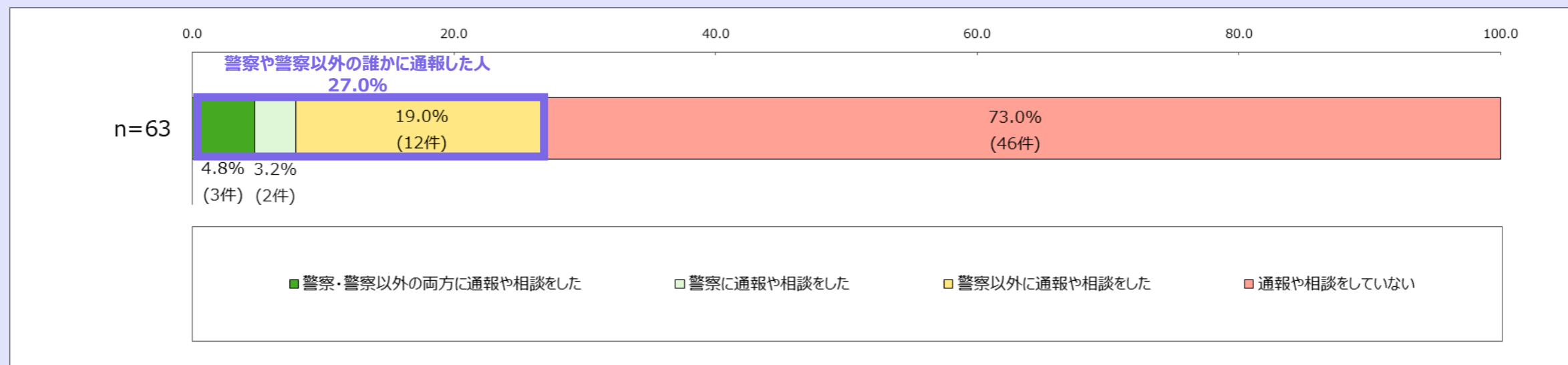
- 年齢が上がるにつれて、誹謗中傷の被害にあった人の割合が多くなりました。



# 被害にあった（あいそうになった）時の対応状況

## Q9. Q3～Q8のような経験をしたとき、家族以外の警察などに通報や相談をしましたか？（単数回答）

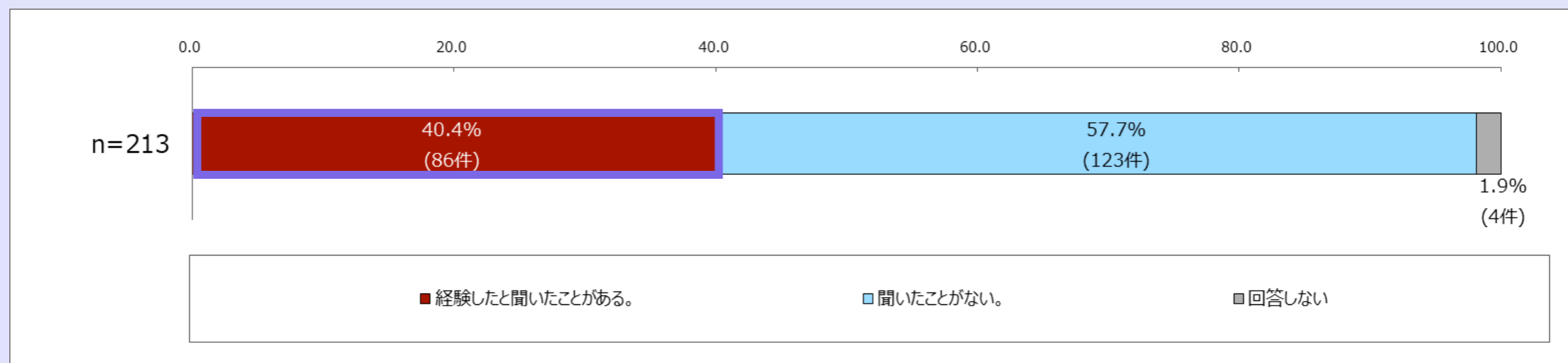
- インターネット上の犯罪の被害にあった／あいそうになったことがある人※のうち、警察が警察以外に通報や相談をした人は、**約3割**でした。



※本設問の回答者（213件）のうち、「Q3～Q8のような経験をしたことはない」（145件）及び「回答しない」（5件）とを除く

## Q10. 身近な方（家族や学校などの友達）で、Q3～Q8のような経験をした方はいますか？（単数回答）

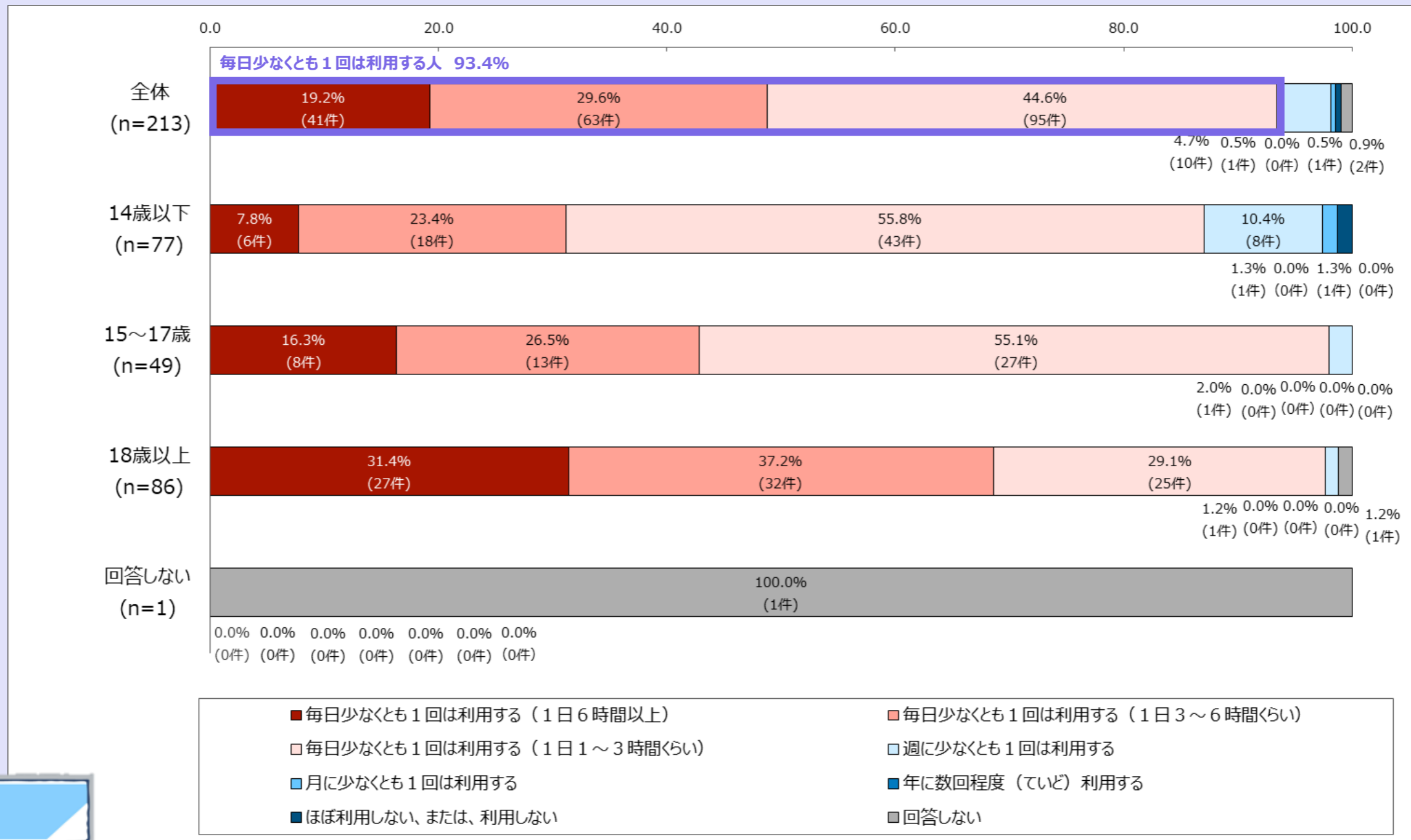
- 身近な人から「インターネット上の犯罪の被害にあった／あいそうになった経験がある」という話を聞いたことがある人は、**約4割**でした。



# インターネットの利用状況

## Q2. 学校の勉強やお仕事以外の目的でインターネットなどをどれくらい使いますか。(単数回答)

- インターネットなどをプライベートで毎日少なくとも1回は利用する（1日1時間以上）人は、**9割以上**いました。

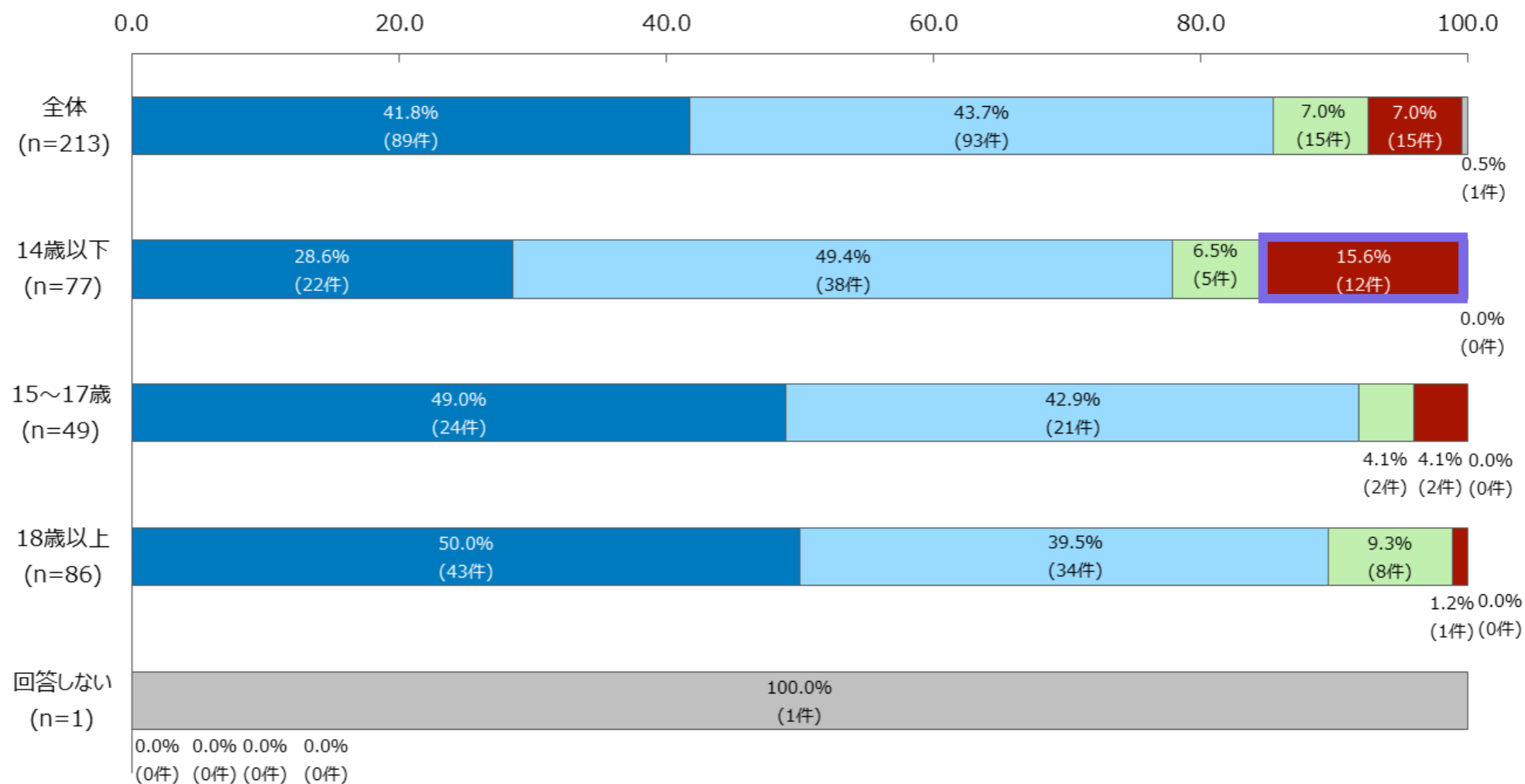




# 情報モラルの学習状況

## Q11. 過去に情報モラルについて教わったり、自分で勉強したりしたことはありますか？(単数回答)

- 14歳以下では、情報モラルについて全く学んだことがない人が他の年代に比べて多くなりました。



■ 教わったことがある。さらに、自分で調べて勉強したこともある。

□ 教わったことはあるが、自分で調べて勉強したことはない。

■ 教わったことはないが、自分で調べて勉強したことがある。

■ 教わったことも、自分で調べて勉強したこともない。

■ 回答しない



# Q3・Q4の被害状況（情報モラルの学習状況別）

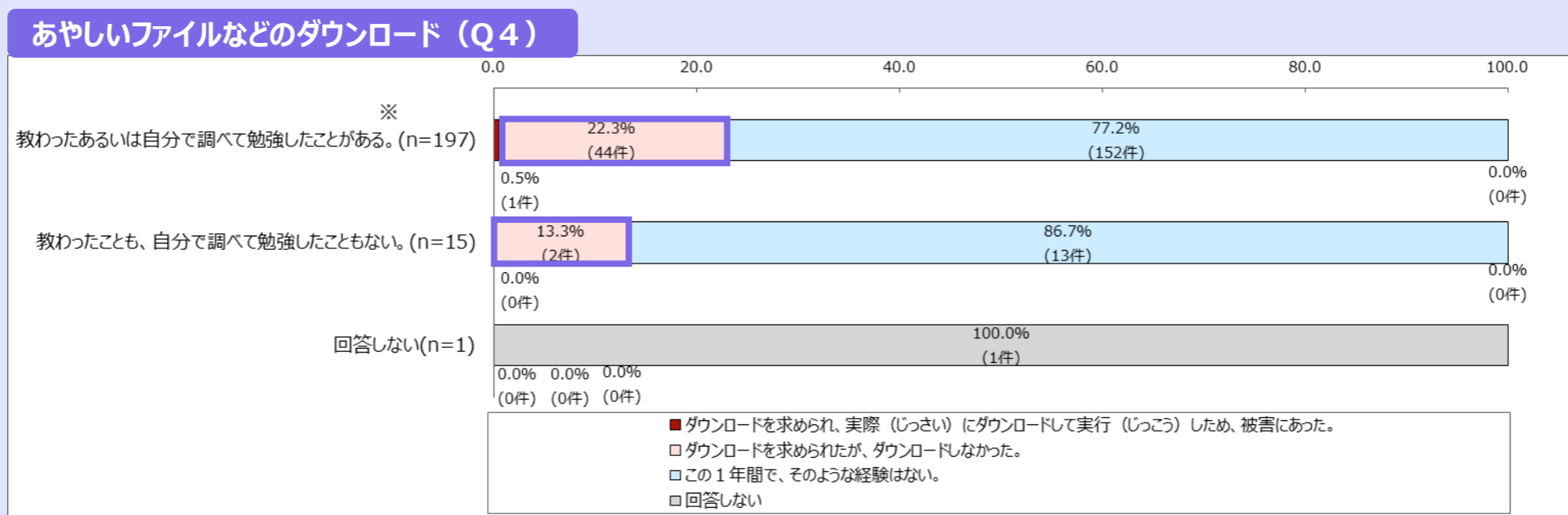
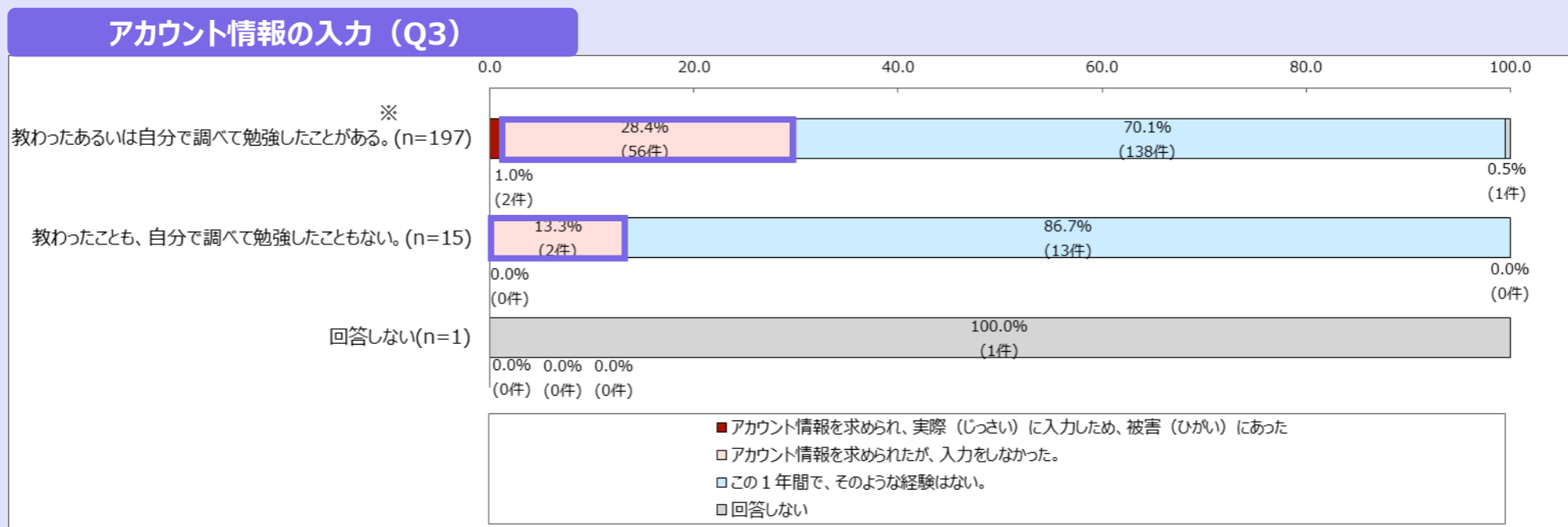
Q3. この1年間で、メール、SNSやインターネット上のサービスなどのID・パスワードを「ふつうとは違う方法」で入力するよう求められたり、あなたの情報を勝手に使われるなどの被害にあったりしたことはありますか？（単数回答）

Q4. この1年間で、あやしいファイルやアプリのダウンロードを求められたり、ダウンロードした不正なアプリにより被害にあったりしたことはありますか？（単数回答）

×

Q11. 過去に情報モラルについて教わったり、自分で勉強したりしたことはありますか？（単数回答）

- 情報モラルについて教わったり勉強したりしたことがある人は、そうではない人と比べて、いつもと違う方法でのアカウント情報の入力やあやしいファイルなどのダウンロードを求められた場合に、それがあやしいと気づけている人が多くいました。

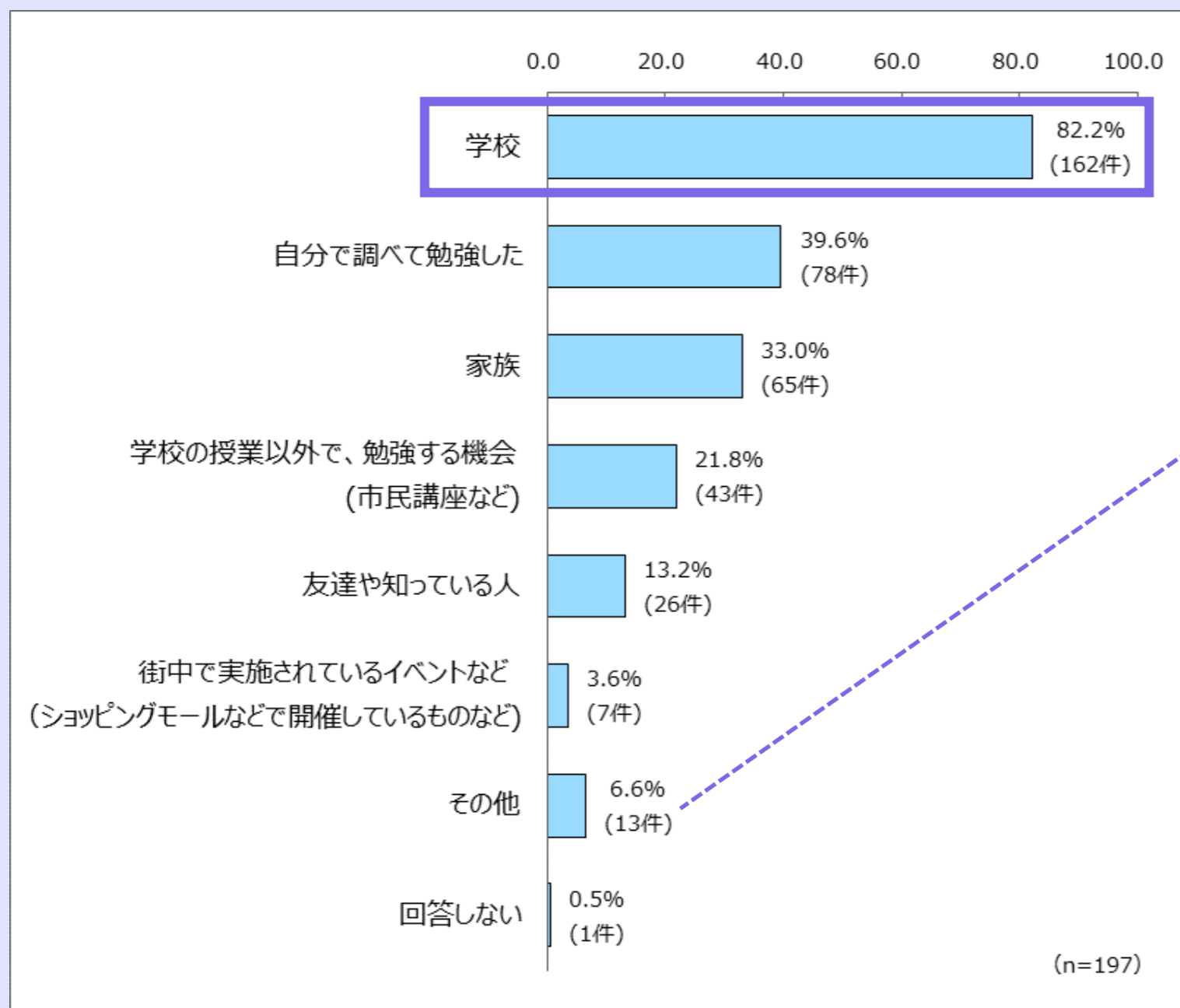


※Q11で「教わったことがある。さらに、自分で調べて勉強したこともある。」「教わったことはあるが、自分で調べて勉強したことはない。」「教わったことはないが、自分で調べて勉強したことがある。」のいずれかを選んだ人

# 情報モラルを学習する機会

## Q12. 情報モラルをどこで教わったり勉強したりしましたか。(複数回答)

- 最も多かったのは、「**学校**」で約 8 割でした。
- 次に多かったのは、「**自分で調べて勉強したことがある**」で約 4 割でした。



### 「その他」の意見 (一部抜粋)

- YouTubeの動画
- 知らない人によるSNS上での注意喚起・情報発信 (ソースの確かなもの)
- テレビ番組
- 本
- 新聞やウェブサイト
- ネット依存防止キャンプ
- 働いていた会社の研修
- スマホを契約する時に店員さんがフィルタリングの必要性を話していた。

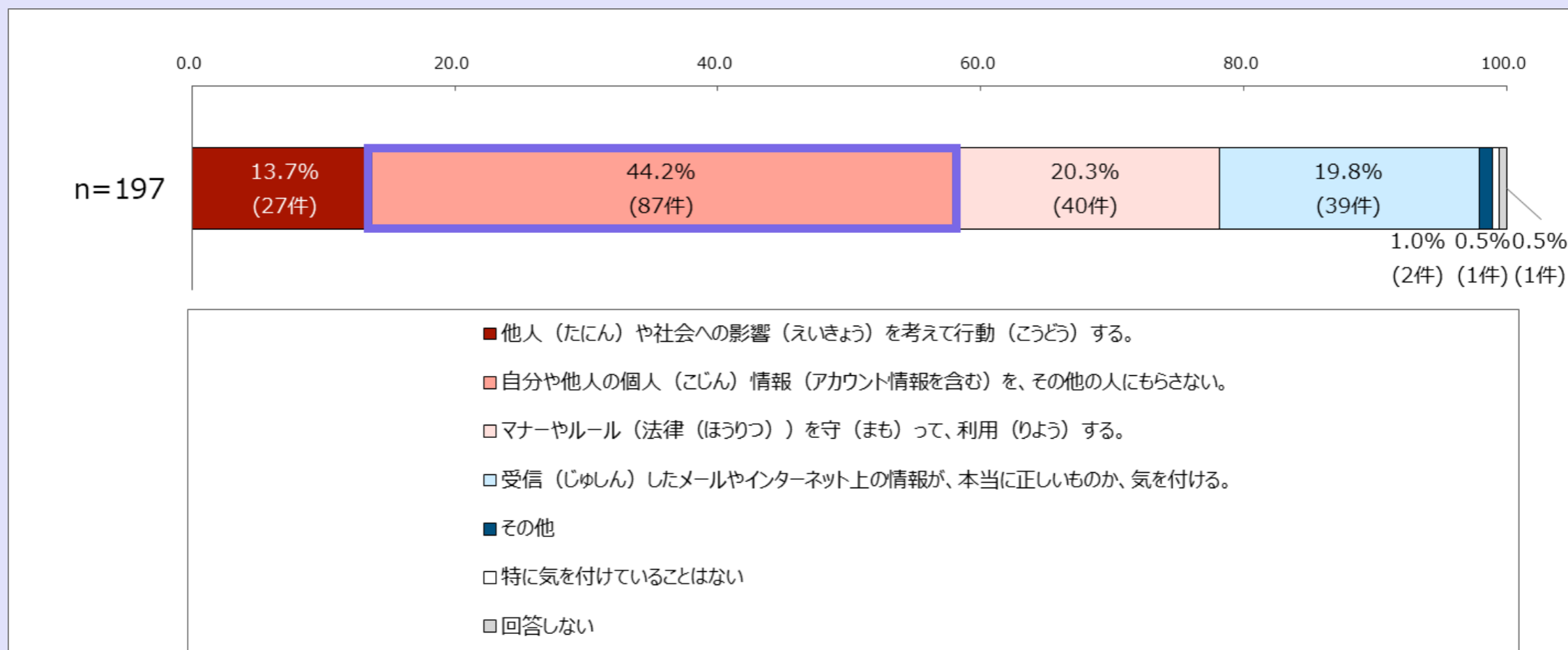


※Q11で「教わったことがある。さらに、自分で調べて勉強したこともある。」「教わったことはあるが、自分で調べて勉強したことはない。」「教わったことはないが、自分で調べて勉強したことがある。」を選んだ人のみ回答

# 教わったり勉強したりした情報モラルのうち、今一番気を付けている内容

Q13. 教わったり勉強したりした情報モラルのうち、今一番気を付けている内容はどのようなものですか。（単数回答）

- 最も多かったのは、「自分や他人の個人情報（アカウント情報含む）を、その他の人にもらさない。」で約4割でした。
- 次に多かったのは、「マナーやルール（法律）を守って、利用する。」で約2割でした。



※Q11で「教わったことがある。さらに、自分で調べて勉強したこともある。」「教わったことはあるが、自分で調べて勉強したことはない。」「教わったことはないが、自分で調べて勉強したことがある。」を選んだ人のみ回答



# 一番気を付けている内容を学習した機会

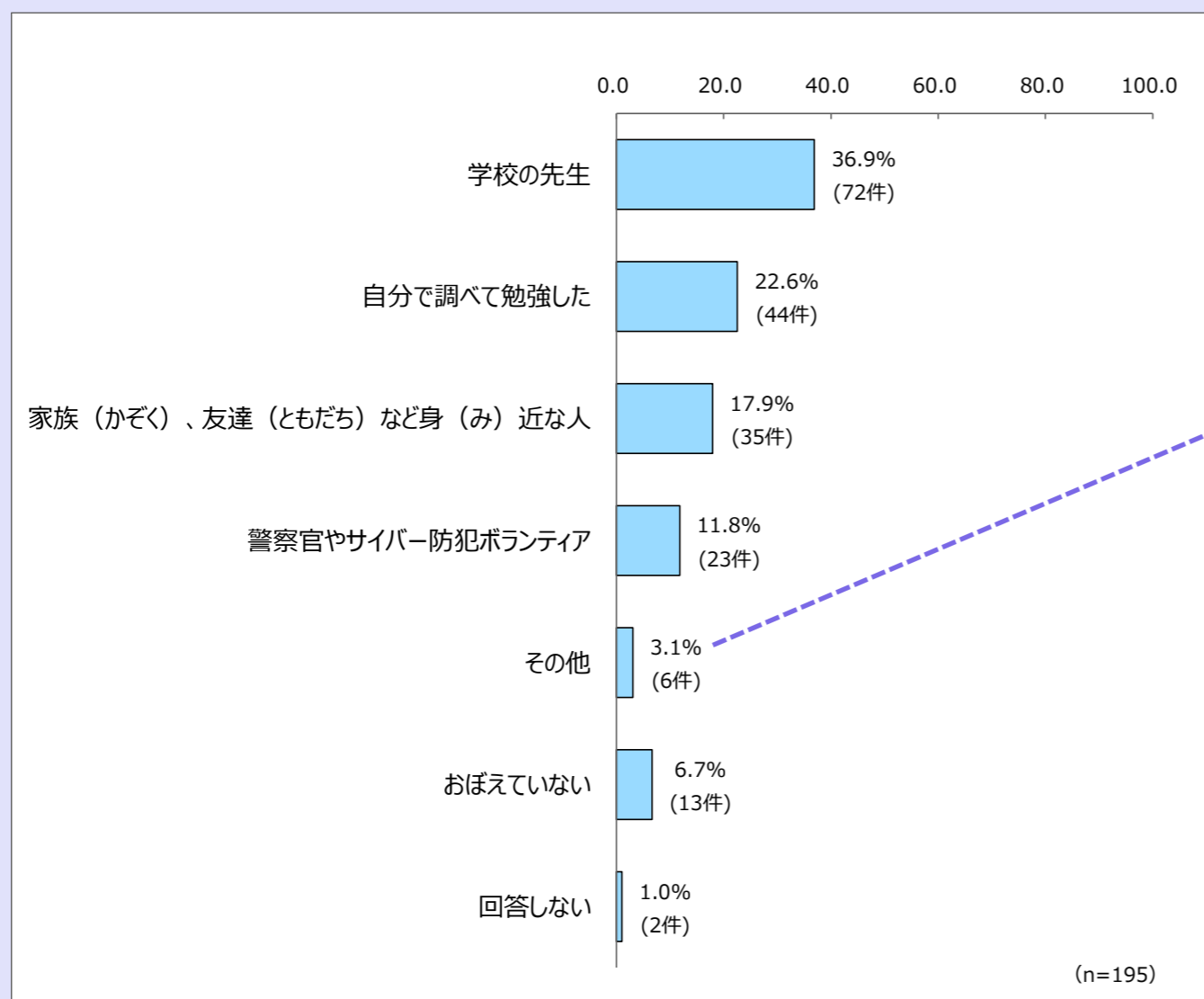
Q14. Q13の情報モラル（今一番気を付けている内容）を誰から教わりましたか。（単数回答）  
（Q13で「特に気を付けていることはない」「回答しない」以外を選んだ人のみ回答）

- 最も多かったのは、「**学校の先生**」で約 4 割でした。
- 次に多かったのは、「**自分で調べて勉強したことがある**」（約 2 割）でした。



## 「その他」の意見

- 選択肢の①～③（「家族、友達など身近な人」「学校の先生」「警察官やサイバー防犯ボランティア」）
- YouTubeやSNSの体験談
- 知らない人によるSNS上での注意喚起・情報発信（ソースの確かなもの）
- テレビやニュースサイトなどのメディア
- 学校の授業の講演会でお話をしてくださった方
- デジタルタトゥーは警察官やサイバー防犯ボランティアで、就職活動の際のSNS調査は家族から。



※Q13で「特に気を付けていることはない」「回答しない」以外を選んだ人のみ回答

